

# 21 世紀兵庫長期ビジョンの推進状況報告書 (令和2年度)

令和3年9月

兵 庫 県

## <目 次>

21 世紀長期ビジョンの概況 .....	1
----------------------	---

### 推進状況の評価

1 「兵庫のゆたかさ指標」による推進状況評価 .....	2
2 県施策の推進状況評価 .....	8

### 全県ビジョンの推進状況

1 創造的市民社会 .....	10
2 しごと活性社会 .....	12
3 環境優先社会 .....	14
4 多彩な交流社会 .....	16

地域ビジョンの推進状況 .....	18
-------------------	----

## 21 世紀長期ビジョンの概況

平成 23 年 12 月に県議会の議決を経て改訂した「21 世紀兵庫長期ビジョン」は、2040 年の兵庫の未来像として「創造と共生の舞台・兵庫」を掲げた。また、「創造的市民社会」、「しごと活性社会」、「環境優先社会」、「多彩な交流社会」の 4 つの社会像のもと、兵庫のめざす姿をよりわかりやすく示すため、12 の将来像を提示した。

その実現に向け、県民、各種団体、企業・事業者、行政など多様な主体が取組を進めている。地域においては、平成 23 年度に改訂した地域ビジョンに掲げる将来像の実現に向けて、地域ビジョン委員会を中心に、多くの県民の参画を得ながら、地域夢会議や各地域のシンボルとなるプロジェクトなど、地域の特性を活かした取組を進めている。

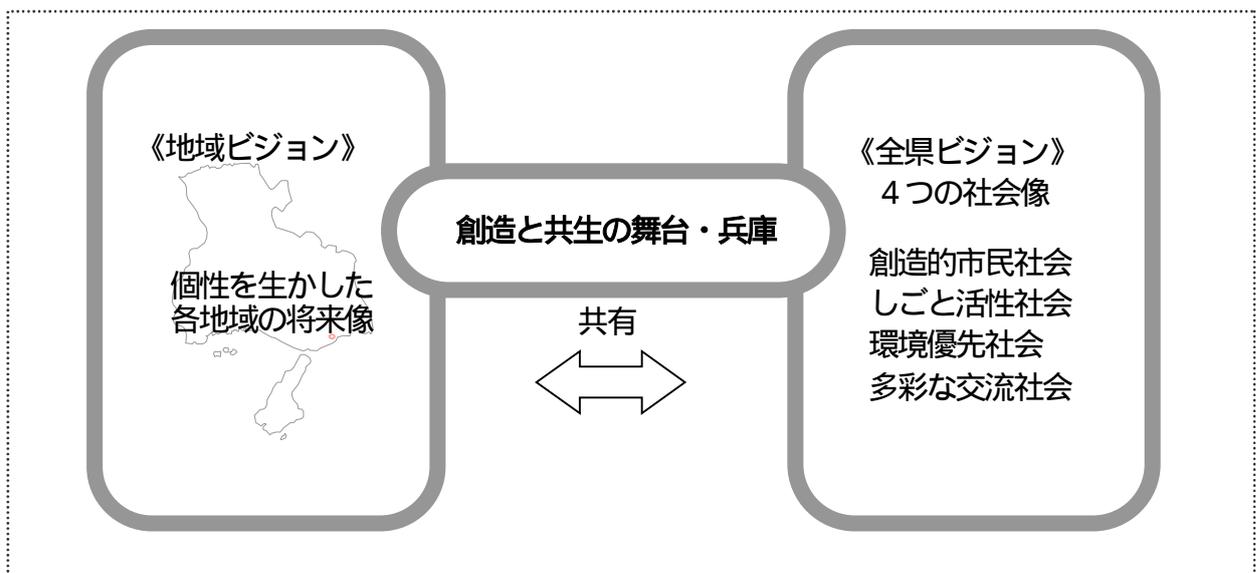
この報告は、県民の実感を捉える「兵庫のゆたかさ指標」等により、4 つの社会像と 12 の将来像の体系に沿って令和 2 年度のビジョンの推進状況を点検・評価するものである。

21 世紀兵庫長期ビジョンの特徴

県民主役・地域主導  
参画と協働

「計画」ではなく「ビジョン」  
プロセス重視

### 21 世紀兵庫長期ビジョンの構成



# 推進状況の評価

## 1 「兵庫のゆたかさ指標」によるビジョンの推進状況評価

### (1) 「兵庫のゆたかさ指標」の趣旨

「21世紀兵庫長期ビジョン」で描いた「12の将来像」を「ゆたかさ」の尺度とみなし、県民意識調査の結果を基に、ビジョンの推進状況を点検・評価する。

### (2) 調査方法

- ・調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女個人 5,000人
- ・調査期間 令和3年6月1日(火)～6月25日(金)
- ・有効回答数 2,417人(有効回答率 48.3%) 回答数は2,454人

### (3) 評価方法

調査項目ごとに5段階で得られた回答(1. そう思う～5. そう思わない)等を肯定的なものから5点～1点に点数化し、これを10点満点に換算した(最高点10点、中間点6点、最低点2点)

### (4) 評価結果の概要

#### 将来像別の評価

##### ア 平均点数

- ・全体の点数は75.56点で、昨年度からやや低下。
- ・将来像別に昨年度と比較すると、2つの将来像で点数が上昇し、10の将来像で低下した。(前年度を下回った将来像の主な要因はP6を参照)

	4つの社会像	12の将来像	R2(a)	R3(b)	(b)-(a)
兵庫のゆたかさ指標	創造的 市民社会	1 人と人のつながりで自立と安心を育む	7.10	7.05	-0.05
		2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する	6.64	6.54	-0.10
		3 次代を支え挑戦する人を創る	6.44	6.39	-0.05
	しごと 活性社会	4 未来を拓く産業の力を高める	5.37	5.38	+0.01
		5 地域と共に持続する産業を育む	6.00	5.94	-0.06
		6 生きがいにあふれたしごとを創る	5.99	6.01	+0.02
	環境 優先社会	7 人と自然が共生する地域を創る	6.21	6.15	-0.06
		8 低炭素で資源を生かす先進地を創る	7.26	7.18	-0.08
		9 災害に強い安全安心な基盤を整える	6.32	6.28	-0.04
	多彩な 交流社会	10 地域の交流・持続を支える基盤を整える	6.35	6.30	-0.05
		11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す	6.98	6.95	-0.03
		12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ	5.48	5.38	-0.10
合計			76.15	75.56	-0.59

## <参考>各調査項目の点数

質問に対して、5段階評価で得られた回答のうち、「そう思う」「まあそう思う」など肯定的なものから5点~1点に点数化したものを10点満点に換算した。

将来像	番号	指標名	R2(A)	R3(B)	B-A	増減率 (B-A)/A
創造的 市民社会	1	家族とのコミュニケーションがとれている(電話などを含み、家族との同居・別居を問わない)	8.51	8.55	0.04	0.4%
	2	頼りになる知り合いが近所にいる	7.45	7.38	-0.07	-1.0%
	3	住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがある	6.65	6.58	-0.07	-1.1%
	4	住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせる	8.19	8.14	-0.05	-0.6%
	5	住んでいる地域では、住民による登下校時の見守り、夜間パトロールや街灯整備などの安全安心を守る取組が行われている	7.74	7.76	0.02	0.3%
	6	住んでいる地域は、高齢者にも暮らしやすい	6.67	6.66	-0.01	-0.2%
	7	住んでいる地域は、障害のある人にも暮らしやすい	5.88	5.89	0.01	0.1%
	8	不当な差別がない社会だ	5.68	5.43	-0.25	-4.5%
	9	心身ともに健康であると感じる	7.31	7.30	-0.01	-0.1%
	10	かかりつけの医者がいる	7.96	7.85	-0.11	-1.3%
	11	目的をもって学んでいるものがある	5.89	5.69	-0.20	-3.4%
	12	ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたい	6.03	5.94	-0.09	-1.4%
	13	お住まいの市・町では、芸術文化に接する機会がある	6.02	5.93	-0.09	-1.6%
	14	住んでいる地域では、子育てがしやすい	6.96	6.93	-0.03	-0.4%
	15	住んでいる地域の子どもは、伸び伸びと育っている	7.50	7.43	-0.06	-0.8%
	16	住んでいる地域では、心の豊かさを育む教育や活動が行われている	6.46	6.45	-0.01	-0.1%
	17	若者が希望を持てる社会だ	4.88	4.77	-0.11	-2.2%
しごと 活社会	18	お住まいの市・町には、優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っている	5.81	5.80	-0.01	-0.1%
	19	お住まいの市・町の企業には活気が感じられる	5.56	5.63	0.07	1.3%
	20	商売、事業を新たに始めやすい	4.74	4.71	-0.03	-0.6%
	21	地元や県内でとれた農林水産物を買っている	7.76	7.79	0.03	0.4%
	22	お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えている	5.23	4.99	-0.24	-4.6%
	23	お住まいの市・町では、生活の不便さを補うサービス産業が増えている	5.11	5.13	0.02	0.4%
	24	お住まいの市・町の駅前や商店街に、活気が感じられる	4.42	4.29	-0.13	-2.9%
	25	地元や県内の農林水産業に、活気が感じられる	5.50	5.49	-0.01	-0.2%
	26	地元や県内でとれた農林水産物は安心だ	7.96	7.93	-0.03	-0.4%
	27	自分のしごとにやりがいを感じる	7.32	7.38	0.06	0.8%
将来像6 生きがいにあふ れたしごとを創る	28	しごとと自分の生活の両立ができています	7.31	7.41	0.11	1.4%
	29	自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だ	4.62	4.62	0.00	0.0%
	30	年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っている	4.82	4.76	-0.06	-1.3%
	31	山林や川、海などの自然環境を守るための取組に参加している、または参加したい	5.78	5.83	0.05	0.9%
環境 優先社会	32	お住まいの市・町の自然環境は守られている	6.79	6.64	-0.14	-2.1%
	33	お住まいの市・町では、自然の生き物(動物・植物)とふれあう機会がある	6.08	5.98	-0.09	-1.5%
	34	太陽光発電など「再生可能エネルギー」を利用する取組に参加している、または参加したい	5.20	5.22	0.02	0.5%
	35	ごみの分別やりサイクルに取り組んでいる	8.78	8.73	-0.05	-0.6%
	36	日頃から節電に取り組んでいる	7.92	7.82	-0.10	-1.3%
	37	製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいく	7.13	6.93	-0.20	-2.8%
	38	住んでいる地域で、災害に備えた話し合いや訓練に参加している	5.28	5.19	-0.10	-1.8%
	39	災害時の避難所と避難方法を知っている	7.57	7.56	-0.01	-0.2%
	40	家庭で災害に対する自主的な備えをしている	6.03	6.00	-0.04	-0.6%
	41	住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっている	6.39	6.36	-0.03	-0.5%
多彩な 交流社会	42	住んでいる地域は、買い物や通院に便利だ	6.42	6.48	0.06	0.9%
	43	住んでいる地域のまちなみはきれいだ	7.22	7.12	-0.10	-1.4%
	44	お住まいの市・町の公共交通は便利だ	5.47	5.45	-0.02	-0.3%
	45	お住まいの市・町は、県内のどこへでも便利に移動できる	6.30	6.17	-0.13	-2.1%
	46	住んでいる地域のことに関心がある	7.56	7.63	0.07	1.0%
	47	住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したい	6.14	6.07	-0.07	-1.1%
	48	住んでいる地域に愛着や誇りを感じる	7.40	7.41	0.00	0.0%
	49	お住まいの市・町には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)がある	6.83	6.69	-0.14	-2.0%
	50	海外に出かけたり、海外での生活を体験したりしてみたい	5.34	5.33	0.00	0.0%
	51	外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えている	5.48	5.14	-0.35	-6.3%
	52	お住まいの市・町は、外国人にも住みやすくなっている	5.63	5.66	0.04	0.6%
	全体評価	53	住んでいる地域にこれからも住み続けたい	8.11	8.19	0.09
54		全体として、今の生活に満足している	7.59	7.62	0.03	0.4%
55		全体として、将来の生活に不安を感じない	5.02	5.12	0.10	2.1%

標本数	5,000	5,000
回収数	2,308	2,417
回収率	46.2%	48.3%

## イ 各社会像・将来像の主な特徴

「家族とのコミュニケーションがとれている(8.55)」「住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせる(8.14)」は8点以上の高い水準となり、家族のきずなの醸成や、暮らしの安全・安心に向けた取組が進んだ一方、「若者が希望を持てる社会だ(4.77)」「不当な差別がない社会だ(5.43)」は低い水準に止まり、若者をはじめ県民が希望を持って生きられる社会への変革が課題

### 将来像1 人と人のつながりで自立と安心を育む

「家族とのコミュニケーションがとれている(8.55)」は0.4%上昇、「住んでいる地域では、住民による登下校時の見守り、夜間パトロールや街灯整備などの安全安心を守る取組が行われている(7.76)」は0.3%上昇

「住んでいる地域は、障害のある人にも暮らしやすい(5.89)」は0.1%上昇したものの、昨年度に引き続き5点台の低い水準

「不当な差別がない社会だ(5.43)」は4.5%低下、「住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがある(6.58)」は1.1%低下

### 将来像2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する

「目的をもって学んでいるものがある(5.69)」は3.4%低下、「ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたい(5.94)」は1.4%低下、「お住まいの市・町では、芸術文化に接する機会がある(5.93)」は1.6%低下し、5点台の低い水準

### 将来像3 次代を支え挑戦する人を創る

「若者が希望を持てる社会だ(4.77)」は2.2%低下し、昨年度に引き続き4点台の低い水準。

「住んでいる地域では子育てがしやすい(6.93)」は0.4%低下

「住んでいる地域の子どもは、伸び伸びと育てている(7.43)」は7点台の比較的高い水準であるものの0.8%低下

「お住まいの市・町の企業には活気が感じられる(5.63)」「お住まいの市・町では、生活の不便さを補うサービス産業が増えている(5.13)」が、いずれも5点台と高い水準ではないものの、上昇傾向。「自分にあつた職業への就職や転職がしやすい社会だ(4.62)」「年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っている(4.76)」が低い水準にとどまり、就業のあり方に課題

### 将来像4 未来を拓く産業の力を高める

「お住まいの市・町の企業には活気が感じられる(5.63)」は1.3%上昇

### 将来像5 地域と共に持続する産業を育む

「お住まいの市・町の駅前や商店街に、活気が感じられる(4.29)」は2.9%低下

「お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えている(4.99)」は4.6%低下

「お住まいの市・町では、生活の不便さを補うサービス産業が増えている(5.13)」は0.4%上昇したものの、依然として5点台の低い水準

### 将来像6 生きがいにあふれたしごとを創る

「しごとと自分の生活の両立ができていく(7.41)」は1.4%上昇、「自分のしごとにやりがいを感じる(7.38)」は0.8%上昇し、7点台の高い水準を維持

「自分にあつた職業への就職や転職がしやすい社会だ(4.62)」「年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っている(4.76)」は、昨年度に続き4点台の低い水準

「ごみの分別やリサイクルに取り組んでいる(8.73)」「日頃から節電に取り組んでいる(7.82)」が高い水準を維持し、環境に配慮したライフスタイルが定着する中、「お住まいの市・町の自然環境は守られている(6.64)」「製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでている(6.93)」が低下するなど、人と自然の共生や低炭素化に向けた一層の取組に課題

#### 将来像7 人と自然が共生する地域を創る

「山林や川、海などの自然環境を守るための取組に参加している、または参加したい(5.83)」は0.9%上昇

「お住まいの市・町の自然環境は守られている(6.64)」は2.1%低下、「お住まいの市・町では、自然の生き物(動物・植物)とふれあう機会がある(5.98)」は1.5%低下

#### 将来像8 低炭素で資源を生かす先進地を創る

「太陽光発電など「再生可能エネルギー」を利用する取組に参加している、または参加したい(5.22)」は0.5%上昇したものの、昨年度に続き5点台の低い水準

「製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでている(6.93)」は2.8%低下

#### 将来像9 災害に強い安全安心な基盤を整える

「災害時の避難所と避難方法を知っている(7.56)」は0.2%低下したものの、7点台の高い水準を維持

「住んでいる地域で、災害に備えた話し合いや訓練に参加している(5.19)」は1.8%低下

「住んでいる地域のことに興味がある(7.63)」「住んでいる地域に愛着や誇りを感じる(7.41)」は7点台を維持し、地域に関心を寄せる県民の割合が高い水準を保つ一方で、「海外に出かけたり、海外での生活を経験したりしてみたい(5.33)」「外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えている(5.14)」は5点台にとどまり、未来の活力を生む世界との交流に課題

#### 将来像10 地域の交流・持続を支える基盤を整える

「住んでいる地域は、買い物や通院に便利だ(6.48)」は0.9%上昇

「住んでいる地域のまち並みはきれいだ(7.12)」は1.4%低下、「お住まいの市・町は、県内のどこへでも便利に移動できる(6.17)」は2.1%低下

#### 将来像11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す

「お住まいの市・町には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)がある(6.69)」は2.0%低下

#### 将来像12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

「外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えている(5.14)」は6.3%低下

「お住まいの市・町は、外国人にも住みやすくなっている(5.66)」は0.6%上昇

#### 全体評価

地域への関心や愛着・誇り、しごとへのやりがいを感じ、生活との両立ができていると感じる人の割合の高さなどを背景に、「住んでいる地域にこれからも住み続けたい(8.19)」(前年度比+1.1%)「全体として、今の生活に満足している(7.62)」(同+0.4%)は高水準を維持している。

一方で、「若者が希望を持てる社会」への低評価や就業面での不安などを背景に、「全体として、将来の生活に不安を感じない(5.12)」(同+2.1%)は若干改善しつつも低水準で推移している。

#### コロナ禍の影響

「駅前や商店街に活気が感じられる(4.29)」(同 2.9%)「観光などの訪問客が増えている(4.99)」(同 4.6%)「外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えている(5.14)」(同 6.3%)「芸術文化に接する機会(5.93)」(同 1.6%)等の低下は、人流や渡航抑制等の影響がうかがえる。

「不当な差別がない社会だ(5.43)」(同 4.5%)の低下は、社会問題となった誹謗中傷問題等の影響が、一方、「家族とのコミュニケーションがとれている(8.55)」(同+0.4%)「しごとと自分の生活の両立ができている(7.41)」(同+1.4%)の上昇は、テレワーク進展等の影響が考えられる。

## ウ 前年度を下回った主な将来像の要因

○将来像 2：兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する（-0.10 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・目的をもって学んでいるものがある	5.89	5.69	(-0.20)
○将来像 12：世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ（-0.10 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えていると思う	5.48	5.14	(-0.35)
○将来像 8：低炭素で資源を活かす先進地を創る（-0.08 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでている	7.13	6.93	(-0.20)
○将来像 5：地域とともに持続する産業を育む（-0.06 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えている	5.23	4.99	(-0.24)
○将来像 7：人と自然が共生する地域を創る（-0.06 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・お住まいの市・町の自然環境は守られている	6.79	6.64	(-0.14)

### 地域別の評価

12の将来像の合計で見ると、10地域のうち、4地域で点数が増加し、6地域で減少した。

	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	全県
R3	76.29	78.85	76.43	77.10	74.76	77.30	73.31	74.17	74.72	73.90	75.56
R2	78.10	77.65	79.21	75.33	74.92	77.24	75.15	74.87	76.56	73.30	76.15
変化幅	-1.81	1.20	-2.78	1.77	-0.16	0.06	-1.84	-0.70	-1.84	0.60	-0.59

#### 【大きく点数が減少した地域の主な要因】

○阪神北（-2.78 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・不当な差別がない社会だと思う	5.92	5.19	(-0.73)
・外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えている	5.88	5.15	(-0.73)
・お住まいの市・町の駅前や商店街に、活気が感じられると思う	5.27	4.78	(-0.49)
○西播磨（-1.84 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えている	5.25	4.68	(-0.56)
・住んでいる地域は、買い物や通院に便利だ	6.12	5.61	(-0.51)
・海外に出かけたり、海外での生活を経験したりしてみたい	5.13	4.64	(-0.48)
○丹波（-1.84 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・目的をもって学んでいるものがある	6.23	5.55	(-0.67)
・ごみの分別やリサイクルに取り組んでいる	9.01	8.62	(-0.40)
・製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでている	7.22	6.87	(-0.36)

#### 【大きく点数が増加した地域の主な要因】

○阪神南（+1.20 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・山林や川、海などの自然環境を守るための取組に参加している、またはしたい	5.76	6.42	(+0.67)
・住んでいる地域は、高齢者にも暮らしやすい	6.82	7.28	(+0.45)
・住んでいる地域では、住民による登下校時の見守り、夜間パトロールや街灯整備などの安全安心を守る取組が行われている	7.53	7.97	(+0.44)
○東播磨（+1.77 点）	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・災害時の避難所と避難方法を知っている	7.06	7.52	(+0.46)
・心身ともに健康である	7.15	7.58	(+0.43)
・海外に出かけたり、海外での生活を経験したりしてみたい	5.30	5.70	(+0.40)

## 性別の評価

男性は上昇したが女性は低下し、全体としては低下した。

	男性	女性	総数
R3	75.82	75.44	75.56
R2	75.38	76.66	76.15
変化幅	0.44	-1.22	-0.59

### 【男性の点数が増加した主な要因 (+0.44 点)】

	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・住んでいる地域は、買い物や通院に便利だと思う	6.43	6.66	(+0.23)
・お住まいの市・町の企業には活気が感じられると思う	5.48	5.71	(+0.22)
・お住まいの市・町の公共交通は便利だと思う人の割合	5.34	5.56	(+0.22)

### 【女性の点数が低下した主な要因 (-1.22 点)】

	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えている	5.35	4.99	(-0.36)
・お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えている	5.29	4.96	(-0.32)
・お住まいの市・町の自然環境は守られていると思う人の割合	6.85	6.57	(-0.28)

## 世代別の評価

12の将来像の合計で見ると、18～29歳、30歳代で増加した一方、40歳代以上は減少している。

	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	全世代
R3	75.60	74.59	75.46	74.92	76.09	76.56	74.67	75.56
R2	75.53	74.14	76.62	75.14	77.20	76.98	75.76	76.15
変化幅	0.07	0.45	-1.16	-0.22	-1.11	-0.42	-1.09	-0.59

### 【大きく点数が減少した世代の主な要因】

○40歳代 (-1.16点)	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えている	5.96	5.32	(-0.64)
・お住まいの市・町では、観光などの訪問客が増えていると思う	5.43	4.95	(-0.47)
・不当な差別がない社会だと思う	5.31	4.98	(-0.33)
○60歳代 (-1.11点)	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・不当な差別がない社会だと思う	5.84	5.38	(-0.46)
・お住まいの市・町は、県内のどこへでも便利に移動できる	6.37	5.93	(-0.44)
・お住まいの市・町では、芸術文化に接する機会がある	6.20	5.81	(-0.39)

### 【大きく点数が増加した世代の主な要因】

○18歳～29歳 (+0.07点)	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・かかりつけの医者がいる	6.34	7.03	(+0.69)
・ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたい	5.70	6.20	(+0.49)
・お住まいの市・町では、生活の不便さを補うサービス産業が増えていると思う	5.24	5.69	(+0.45)
○30歳代 (+0.45点)	(R2)	(R3)	(R3-R2)
・自分のしごとにやりがいを感じる	7.17	7.58	(+0.41)
・住んでいる地域のことに関心がある	7.19	7.59	(+0.40)
・住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う	6.01	6.33	(+0.33)

## 2 県施策の推進状況評価

### (1) 創造的市民社会

健康づくりや、ひきこもり支援、子育て環境の充実など医療・福祉サービスの基盤整備が進展している。また、地域・企業が参画する学校教育など、多様な社会で活躍する人材育成が展開されている。

#### 【将来像1】 人と人のつながりで自立と安心を育む

ひょうご出会い支援事業による成婚数[R1:135組 R2:127組] (R2目標:200組)

いのちとこころのサポーター推進リーダー養成数 [R1:38人 R2:153人] (R2目標:35人)

地域安全 SOS 適切な関係機関へのつなぎ件数 [R1:640件 R2:672件] (R2目標:600件)

#### 【将来像2】 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する

健康づくりチャレンジ企業登録社数 [R1:1,681社 R2:1,866社] (R2目標:1,300社)

ひきこもり者の居場所を設置した市町数[R1:3市町 R2:12市町] (R2目標:10市町)

学校・地域での伝統文化体験教室開催回数(累計) [R1:85回 R2:96回] (R2目標:90回)

#### 【将来像3】 次代を支え挑戦する人を創る

保育所待機児童数 [R1:1,528人 R2:769人] (R2目標:0人)

認定こども園の認可・認定数(累計) [R1:553園 R2:579園] (R2目標:545園)

高等学校の課題研究に参画した外部人材数(延べ) [R1:163人 R2:443人] (R2目標:120人)

目標値は「兵庫県地域創生戦略」及び「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」に基づく。以下同じ。

#### 【達成されなかった項目の今後の取組】

- ・ 出会い支援による成婚数を増やすため、県内民間企業への結婚支援に関する情報提供や、利用者増加に繋がったスマホ婚活システムの活用等により、出会いの機会の一層の充実を図る。
- ・ 待機児童数は、引き続きゼロを目指し、市町や関係者と協議を重ねながら、都市部での小規模保育の展開など、地域のニーズに合わせて保育所等の定員拡大や保育人材確保を進める。

### (2) しごと活性社会

起業環境の整備や、多様な企業の農業参入促進等の取組が展開されている。また、ひょうご・しごと情報広場や若者しごと倶楽部を通じて就業機会の提供が進んでいる。

#### 【将来像4】 未来を拓く産業の力を高める

起業プラザひょうご会員数[R1:93人 R2:114人] (R2目標:80人)

コワーキングスペース開設支援件数[R1:12件 R2:21件] (R2目標:15件)

外国・外資系企業進出支援件数 [R1:19件 R2:7件] (R2目標:25件)

#### 【将来像5】 地域と共に持続する産業を育む

異業種交流グループ支援件数 [R1:26件 R2:49件] (R2目標:40件)

「五つ星ひょうご」認定数 [R1:68商品 R2:74商品] (R2目標:50商品)

県内宿泊客数 [R1:1,442万人 R2:898万人] (R2目標:1,450万人)

#### 【将来像6】 生きがいにあふれたしごとを創る

「ひょうごで働こう! マッチングサイト」を通じたマッチング件数 [R1:11件 R2:112件] (R2目標:100件)

企業等向け障害者の在宅ワーク推進セミナー参加者 [R1:378件 R2:322件] (R2目標:180件)

ワークイノベーション推進宣言企業(累計) [R1:2,218社 R2:2,706社] (R2目標:2,224社)

#### 【達成されなかった項目の今後の取組】

- ・ 海外企業誘致プロモーションが難しくなる中、国内外資系企業本社への訪問やWEBでの誘致活動、海外事務所と連携したオンラインセミナーなどPR策の充実を図る。
- ・ 渡航制限などツーリズムへの影響に対応し、兵庫五国の特色を活かした体験型観光コンテンツの開発、ワーケーションの推進、観光産業の感染防止対策の徹底など、ポストコロナ時代の新たな観光モデル創出を推進する。

### (3) 環境優先社会

子どもたちへの体験教育の機会が充実するとともに、低炭素技術の導入が進んでいる。また、防潮堤の補強延長や防災アプリの普及など、災害に備えるハード・ソフト両面からの取組が進んでいる。

<b>【将来像7】 人と自然が共生する地域を創る</b> 幼児向け環境体験プログラム実施園数(累計) [R1: 63園 R2: 423園] (R2目標: 450園) ひょうごの木の家設計支援件数 [R1: 102件 R2: 106件] (R2目標: 100件) コウノトリ野外個体数(累計) [R1: 176羽 R2: 217羽]
<b>【将来像8】 低炭素で資源を生かす先進地を創る</b> 住宅用創エネ・省エネ融資、HEMS補助、家庭用蓄電池補助の合計件数 [R1: 978件 R2: 642件] (R2目標: 500件) うちエコ診断実施件数 [R1: 10,390件 R2: 11,235件] (R2目標: 10,000件) 水素ステーション立地件数 [R1: 2箇所 R2: 3箇所] (R2目標: 8箇所)
<b>【将来像9】 災害に強い安全安心な基盤を整える</b> 防潮堤の補強延長(累計) [R1: 6.4km R2: 6.5km] (R2目標: 6.5km) 防災アプリダウンロード件数(累計) [R1: 96,627件 R2: 153,240件] (R2目標: 150,000件) 草の根意識啓発の実施数(累計) [R1: 143,325戸 R2: 178,122戸] (R2目標: 173,000戸)

#### 【達成されなかった項目の今後の取組】

- ・幼児向け環境体験プログラムについて、コロナの影響で目標を下回ったが、プログラム内容の充実を図るとともに感染症対策を講じながら実施園の確保に努める。
- ・水素ステーション設置は、4年ぶりに1箇所(姫路市)新設されたものの、首都圏への設置が優先され、目標達成に至らなかった。水素ステーション設置やFCV・FCバス導入に対する補助のPRに努めるとともに、大阪・関西万博を見据え、水素ステーション設置企業に対する働きかけを進める。

### (4) 多彩な交流社会

地域の自立を支えるボランティアなどの活動が広がるとともに、暮らしや産業・交流の基盤となるインフラの老朽化対策等が進展している。また、海外との交流では、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた一方、留学生への支援や外国人県民等への相談支援など、世界との交流・多文化共生の取組が進んでいる。

<b>【将来像10】 地域の交流・持続を支える基盤を整える</b> 自主運行バスの立ち上げ支援数 [R1: 24件 R2: 26件] (R2目標: 23件) ふるさとひょうご寄附金寄附件数 [R1: 1,695件 R2: 1,330件] (R2目標: 1,600件) 老朽化対策を完了した橋梁数(累計) [R1: 80箇所 R2: 262箇所] (R2目標: 162箇所)
<b>【将来像11】 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す</b> 「がんばる地域」交流・自立応援事業実施地区数 [R1: 33地区 R2: 28地区] (R2目標: 28地区) ふるさと応援交流センターを通じたボランティア研修参加者等 [R1: 2,573人 R2: 1,983人] (R2目標: 1,000人) 空き家・空き店舗を活用した起業・創業件数 [R1: 30件 R2: 28件] (R2目標: 34件)
<b>【将来像12】 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ</b> 私費外国人留学生への奨学金支給人数 [R1: 164人 R2: 163人] (R2目標: 150人) ひょうご多文化共生総合相談センター相談件数 [R1: 2,868件 R2: 3,630件] (R2目標: 2,800件) 東京初光 ッパ ヲ光 ッカ、ガビ-ワールド カブ 事前合宿の招致件数(累計) [R1: 10件 R2: 10件] (R2目標: 5件)

#### 【達成されなかった項目の今後の取組】

- ・ふるさとひょうご寄附金の実績の低調な事業について、収入確保計画を策定し、進行管理を行うとともに、PRの強化や返礼品の内容充実を図るなど、寄附獲得に向けた取組を推進する。
- ・空き家活用による補助上限額の増額など、メリットを含めて助成制度を県内外に周知し、空き家を活用した起業・創業を促進していく。

# 全県ビジョンの推進状況

## 創造的市民社会

- 1 人と人のつながりで自立と安心を育む
- 2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する
- 3 次代を支え挑戦する人を創る

### 1 人と人のつながりで自立と安心を育む

〔家庭のつながりの再生や縁結びの支援 / 孤立を防いで安心して暮らせる社会づくり / 地域の安全安心の確保 など〕

お相手探しのスマホ対応や、民間企業との連携による出会いイベントの充実等を進めたが、コロナ禍による出会いサポートセンターでのお見合いの停止等により、成婚数は前年を8組下回る127組と目標（200組）に未達

急増する児童虐待相談に迅速に対応するため、これまで中央こども家庭センター（明石市）が管轄し、地理的アクセスが不便であった北播磨地域に、加東こども家庭センター分室を新設（令和2年10月開設、同3年4月から加東こども家庭センターに改編）

県内で発生した殺傷事件を背景に、青少年愛護条例の有害玩具類にボーガンを指定するとともに、ボーガン取得の届出義務を定める、全国初の条例を制定（令和2年12月）し、地域の安全安心な生活環境を確保

犯罪捜査の高度化・効率化を図るため、県警にAI技術を搭載した防犯カメラ画像等の解析システムを導入し運用開始



出会いサポート事業



ボーガン規制条例ポスター

### 2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する

〔医療体制の充実と健康づくりの推進 / 障害者の自立支援 / スポーツ、芸術の振興 など〕

地域の介護人材の充実を図るため、施設等で補助的業務を行うケア・アシスタントの導入支援策を拡充（人材要件や支援額の拡充、計33施設、63人）

国保の健診・医療情報等を活用した県データ分析システムの機能を拡充し、生活習慣病やフレイル予防をはじめ、県内市町の保健行政の支援体制を強化

引きこもり者の家族らが、当事者と良好な関係を築き、診療などにつなげるプログラム「CRAFT（クラフト）」の公認支援者を養成（25人）

障害のある方々の文化艺术作品の発表機会を充実させるため、県立美術館王子分館原田の森ギャラリー内に、常設展示場「障害者アートギャラリー」を開設（2020年度 2団体）  
 コロナの影響により芸術文化イベントの中止が相次ぐ中、本県ゆかりのアーティストの動画を配信し広く県民が芸術文化に触れる機会を提供（動画本数109件、参画アーティスト73名・36団体）

1年延期となったワールドマスターズゲームズ2021関西（令和4年5月開催予定）のリハーサル大会やPRイベントを展開し（公式競技：12種目、オープン競技：6種目）、生涯スポーツの活性化と本大会への機運醸成を推進



アーティスト動画



WMG関西 節目イベント

### 3 次代を支え挑戦する人を創る

〔子どもを生き育てやすい環境の整備 / いのち、ふるさと、支え合いの大切さ、生きる力を学ぶ特色ある教育の展開 など〕

異なる分野を横断した複眼的視野により、創造力や課題解決能力を高めるSTEAM教育のモデル校を指定しカリキュラムを検討（指定県立高校：兵庫、加古川東、豊岡）

待機児童の早期解消を図るため、認定こども園について11市町20施設の整備を支援  
 放課後児童クラブについて、児童支援員の処遇改善支援などに取り組み、設置箇所数は33箇所増加、利用者数はコロナの影響により1,037人減少（計1,523箇所、利用者数55,319人）  
 「ひょうご乳幼児教育・保育マイスター（県版認証保育士）」制度を創設し、質の高い保育人材等を育成（29名認証）

子育て家庭の経済的負担軽減を促進するため、私立高校等の授業料に係る県独自の軽減策を充実（国補助に上乗せし、年収910万円未満世帯を対象）



STEAM教育



乳幼児教育・保育マイスター研修

## コロナ危機の克服に医療関係者・県民・事業者・行政が一体となって取組

### コロナ感染拡大に対する医療提供体制の構築

新たにコロナ対策を行う「感染症等対策室」を設置した。必要な病床数を確保しつつ、入院調整を行うCCC-hyogoの設置や、EMIS（広域災害救急医療情報システム）の運用により、保健所圏域を越えた円滑な入院調整体制を構築した。さらに自宅・宿泊療養者支援を強化・充実するとともに、ワクチン接種の促進を図るなど、感染状況に応じた対策を推進した。

### 高齢者や子どもをはじめ様々な立場の県民への支援

高齢者・障害者施設、保育所、放課後児童クラブなど社会福祉施設等への感染防止支援、職員応援体制の確保、経営支援等を市町などと連携して実施した他、親が感染した乳幼児の一時保護、精神疾患患者の検査体制の確保、誹謗中傷の抑止等、様々な立場に置かれる県民への支援を展開した。



CCC-hyogoによる入院調整



ポストコロナ兵庫会議の提言  
発起人 五百旗頭 真 座長による記者会見



ポストコロナ補助金事業 飲食店での  
感染症対策（AIカメラ混雑状況配信）

### 事業・雇用の継続・新展開への支援

融資枠過去最大1兆3千億円の新型コロナ対策6資金を創設。休業支援金、事業再開支援金など緊急対策を講じ、企業の事業継続を下支えした他、テイクアウト・デリバリー参加を支援する「がんばるお店・お宿応援事業」、テレワーク導入等を支援する「デジタル活用支援事業」を展開した。また、事業者間在籍型出向等の支援により雇用対策を推進した。

### ポストコロナ社会に向けた取組

コロナの経験と教訓を将来に活かすため、県ゆかりの識者が「ポストコロナ社会兵庫会議」を開催。分散型社会への転換など新しい社会づくりへの提言を全国に発信。また、ポストコロナ社会に資する事業への補助制度を創設し、企業、大学、団体をはじめ県民の英知を結集する取組を展開した。

## ICTを活用した新時代の教育環境の整備

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、長期にわたる臨時休業や行事の延期・中止など、児童生徒の学習環境に大きな影響を及ぼした。こうした中で、学校現場においては、タブレット端末の導入を大幅に前倒しし、オンラインでの動画視聴や、学習支援アプリの活用を進めたほか、インターネット回線の増設などICT環境の充実を速やかに推進した。

また、家庭からインターネットに接続できない児童生徒に対して、臨時休業中も学習を支援するため、通信可能なタブレット端末を貸与するなど、一人ひとりに対する、きめ細やかな学習支援を推進した。

### <タブレット端末の整備>

- ・高等学校 16,173 台、特別支援学校 2,820 台、
- ・中等教育学校 239 台



オンラインでの動画視聴



ICT環境の充実

## 芸術文化観光専門職大学の開学

但馬地域で初めての4年生大学となる「芸術文化観光専門職大学」の開学を進めた（令和3年4月開学）。

1学部1学科で芸術文化と観光を学べる芸術文化・観光学部は全国初であり、芸術文化×観光×経営の視点により、地域の活性化に貢献できる人材の育成をめざす。

学長には、演出家の平田オリザ氏が就任。芸術を通じた人格形成や、地域をフィールドにした実践教育、地元高等学校との連携教育にも取り組む。

### <教育研究の主な実施方針>

- ・演劇手法を取入れたコミュニケーション能力の育成
- ・「理論」と「実践」で深化する新たな学びのスタイル
- ・社会に新たな価値を実装し、ローカル&グローバルに展開する教育研究



劇場等を備えたキャンパス



入学式での平田オリザ学長 挨拶

- 4 未来を拓く産業の力を高める
- 5 地域と共に持続する産業を育む
- 6 生きがいにあふれたしごとを創る

## 4 未来を拓く産業の力を高める

〔兵庫の科学技術基盤の活用と産学官連携による成長産業の育成 / オンリーワン企業の創出 / 企業の海外展開支援 など〕

第一線の起業家等との交流、経験豊富なメンターのサポートやカリフォルニア大学との連携によるプログラムが受けられる、起業人材育成プログラムを神戸大学と連携して展開（19名受講）

ロボット・AI・IoT、航空・宇宙、環境・エネルギー、健康・医療など、成長産業分野において、新規参入・事業拡大を目指す企業を対象に、製品の試作・開発費補助や技術者育成支援、販路拡大の支援等を実施（補助実績：58件）

コロナ禍により海外との往来が制限されるなか、米国シアトルで開催されたAIスタートアップ企業向けオンラインセミナーにより、一次進出に向けたプロモーションを実施



起業人材育成プログラム



製品の試作・開発の支援事例  
（燃料電池発電システム）

## 5 地域と共に持続する産業を育む

〔地域に根ざした産業の振興 / 観光・誘客の推進 / 力強い農林水産業の展開 など〕

ひょうごメタルベルトを中核とした金属新素材開発を促進するため、工業技術センターのサテライトとして設置する金属新素材研究センターにおいて、新技術の構築と企業への普及促進を展開（セミナー参加企業 20社参加、試作回数 15回）

AI・IoT・ロボット普及支援拠点として、兵庫ものづくりセンター神戸に専門家を配置して「スマートものづくりセンター神戸」に改組し、機能を充実（令和2年4月）

担い手不足や高齢化が進む中、農業の競争力強化を図るため、スマート農業に関する研修・実演会（13件）やIT水位センサー等の現場実証（14件）を実施し、スマート農業技術の積極的な導入・普及を推進

農業の基幹産業化に向けて、平成30～令和2年度までの3ヶ年を「法人化強化期間」と位置付け、農業経営の法人化や集落営農組織の育成等を推進。この期間に113の法人経営体、25の集落営農組織が設立

ひょうご観光本部が、インバウンド誘客を含む先駆的な観光地域振興策に国の支援を受ける「重点支援DMO」に選定（令和2年8月）。全国のモデルケースとして、地域主導の着地型観光の開発や多様なステークホルダーとの連携事業などの取組を展開



スマートものづくりセンター神戸でのロボット導入事例



ドローンによる農薬散布実演会

## 6 生きがいにあふれたしごとを創る

〔若者、女性、高齢者、障害者の雇用・就業の支援 など〕

労働者団体、経営者団体等で構成する「多様な働き方推進会議」を開催。多様な勤務形態や新たな働き方の普及に向けた課題と推進方策を検討（全体会2回、検討会議3回）するとともに、動画配信により先進取組事例を紹介

ひょうご・しごと情報広場にミドル・シニアの各世代専用の相談窓口を令和2年4月に設置し、就職氷河期世代などミドル世代対象のキャリアカウンセリングや、シニア世代向けの短時間しごとの切り出し支援等を推進

障害者の就労や、地域での活躍の場づくりを支援するため、農業参入する障害福祉事業所に対し、地域の農業者や関係団体、行政等が連携しつつ、包括的に支援するモデル事業を展開（宍粟市、丹波市）

女性活躍推進センターを中心に、ステップアップを目指す女性への支援を推進するほか、労働局と連携し、就業や起業にかかる相談支援等を実施（窓口相談数 6,394人）

社会人の学び直しによる一層のスキルアップや、多様な働き方の普及促進を図るため、大学や専修学校、企業を対象とするリカレント教育フォーラム等を開催（大学対象：38校 8社参加、専修学校対象：20校18社参加）



障害者の就労支援



ミドル・シニアの各世代専用の相談窓口

## <トピックス>

# 官民一体となったスタートアップ・エコシステムの形成

優れた技術やノウハウで、社会に新たな価値を創造するスタートアップの育成は、地域経済や産業・雇用の活性化にとって大きな意義を持っている。

令和2年7月には、兵庫が大阪・京都とともに、国の「内閣府スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」に選定された。官民一体となったスタートアップ育成拠点形成を推進していく。

9月には、「起業プラザひょうご」を三井住友銀行神戸本部ビルに移転し、機能拡充。同行との連携によりスタートアップの成長サポート、地元企業・大学等とのオープン・

イノベーションを強化していく。

11月にはUNOPS（国連プロジェクト・サービス機関）のS3i（エススリーアイ）イノベーションセンタージャパンが「起業プラザひょうご」の隣に開設した。同拠点で活動するSDGs課題の解決に取り組むスタートアップと県内起業家の連携・交流を促進する。

令和3年3月には、飛躍的な成長が期待されるスタートアップを資金面で支援するため、「ひょうご神戸スタートアップファンド」を創設した。



UNOPS S3i イノベーションセンタージャパン



起業プラザひょうご



起業プラザで実施したポストコロナ・スタートアップ支援公開審査

## イノベーションを創出する産業基盤の充実

成長産業分野（ロボット・AI・IoT、航空・宇宙、環境・エネルギー、健康・医療）ごとに、トップレベルの専門人材と、企業、研究機関等で構成する分野別コンソーシアムを令和2年8月に設置し、参加者間のマッチング等を実施（参加企業数：141社）。また、日本の競争力の源泉である物質・材料分野での革新的技術開発の活性化に向け、県放射光研究センターにMI 実証環境を整備するとともに、MI人材育成プログラムの開発運用を行った。

さらにスーパーコンピュータ「富岳」が主要ランキングで世界初の4冠を達成。SPRING-8、SACLA、FOCUSスパコンなどとともに、県内に立地する最先端科学技術基盤の活用をさらに推進し、イノベーション創出サイクルの形成を図る。

MI（マテリアル・インフォティクス）：膨大なデータから目的の特性を持つ材料の構造等を予測し、新材料開発の速度を加速する技術



スーパーコンピュータ「富岳」  
提供：理化学研究所

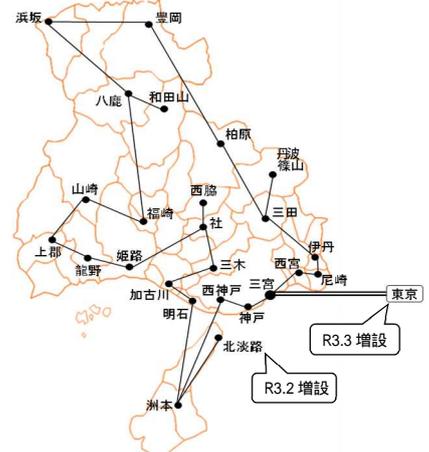


左：SPRING-8、右：SACLA  
提供：理化学研究所

## 兵庫情報ハイウェイ・スーパーハイウェイの充実整備

県内全域を結ぶ高速通信ネットワーク基盤「兵庫情報ハイウェイ」の通信容量を増強（10Gbps → 20Gbps）するとともに、北淡路アクセスポイントを増設。さらに、東京とを結ぶ「兵庫情報スーパーハイウェイ」を新たに構築し、産業の高度化、企業経営・働き方のデジタル化を加速させるとともに、首都圏からの企業・人材移転の促進を図った。

兵庫情報ハイウェイ・スーパーハイウェイは、兵庫県内に新たに事務所を開設もしくは移設・増設する企業に無償提供。県内事務所と東京を含む各地事務所との社内ネットワークを高速・低価格で実現できることをメリットに、企業誘致やワーケーション等地域創生を促進する取組への活用を進めている。



兵庫情報ハイウェイ・スーパーハイウェイ

# 環境優先社会

- 7 人と自然が共生する地域を創る
- 8 低炭素で資源を生かす先進地を創る
- 9 災害に強い安全安心な基盤を整える

## 7 人と自然が共生する地域を創る

〔自然環境の保全・創造 / 野生動物の保護管理 / 農地の持つ多面的機能の維持・保全 など〕

豊かで美しい瀬戸内海の再生に向け、一部の海域における栄養塩類濃度の低下や食物連鎖構造の把握に関する先進的な調査研究を進めるとともに、令和2年度に策定した工場等の栄養塩類供給に係るガイドラインを用いた説明会等を実施

絶滅危惧種に指定されているニホンイヌワシのヒナを、県立人と自然の博物館などの調査により確認（美方郡）。その後、令和3年3月に死亡したとみられるものの、県内での繁殖成功は16年ぶりの快挙

県立ひょうご環境体験館を令和3年3月にリニューアルオープン。環境問題を映像で紹介するシアターでの放映内容、展示グラフィックなどを刷新し、地球温暖化や地域の自然環境などを分かりやすく発信

- 淡路花博20周年記念花みどりフェアのプレイベントにおいて、日本の花文化の継承と創造をテーマに自然との共生を発信する「あわじガーデンルネサンス2020」など多彩なイベントを展開



ニホンイヌワシのヒナ  
(伊藤浩士氏撮影)



県立ひょうご環境体験館

## 8 低炭素で資源を生かす先進地を創る

〔再生可能エネルギー等の導入拡大 / 地域に合わせたエネルギー政策の展開 / 環境負荷の低減に向けた取組 など〕

企業が自らの事業の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指すイニシアチブ「再エネ100宣言RE Action」にアンバサダーとして参画し、中小事業者への取組拡大を推進

- 地域のエネルギー自立とバランスのとれた再生可能エネルギーの普及拡大を図るため、地域における再エネ発電事業（小水力・小規模バイオマス・小型風力等）の立ち上げを支援する「地域創生！再エネ発掘プロジェクト」を展開

レジ袋をはじめとするワンウェイプラスチックの削減や、県内企業で生産される生分解性プラスチックの導入促進（代替素材への転換）、ペットボトルのボトルtoボトルの促進等を県民・企業とともに進める「プラスチックごみゼロアクション」をスタート

都市緑化を推進するため、住民団体等による植樹や芝生化などの緑化活動を支援する「県民まちなみ緑化事業」を展開（238件補助：植樹約4万4千本、芝生化約6ha分）



再エネ100宣言 RE Action



プラスチックごみゼロアクション

## 9 災害に強い安全安心な基盤を整える

〔安全安心を支える社会基盤の整備 / 地域ごとの防災システムの充実 / 防災意識の向上促進 など〕

新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえ、避難所に指定されている学校等の体育館について、感染防止対策として換気設備の導入を支援するとともに、広域調整用物資として、簡易ベッドや非接触型体温計など、避難所の衛生環境の確保に必要な物資の備蓄を充実

市町における新型コロナウイルス感染症対策に十分留意した避難所運営等を支援するため、「避難所管理運営指針」の増補版として、「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ガイドライン」を策定

災害時に、県民一人ひとりが主体的な避難行動ができるよう、避難行動を予め決めておく「マイ避難カード」の作成を支援するとともに、分散避難等促進のため普及啓発を実施

ため池の決壊による被害を防止するため、決壊リスクや被害想定に応じて優先的に整備する実施計画として、ため池にかかる「兵庫県防災工事等推進計画」を策定。令和12年度までの10年間で、422箇所のため池について、集中的かつ計画的に改修や廃止を推進



マイ避難カードの普及促進

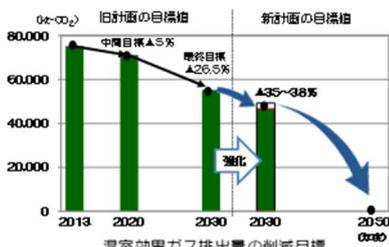


ため池の改修整備

<トピックス>

「兵庫県地球温暖化対策推進計画」の改定など2050年カーボンニュートラルの取組の推進

世界中で「気候危機」という言葉が使われるほど、地球温暖化問題は深刻化しており、各国では温暖化対策の動きが急激に加速している。兵庫県は国に先立ち、令和2年9月、長期的な将来像として「2050年にカーボンニュートラル(二酸化炭素排出実質ゼロ)」を表明。気候危機に立ち向かう行動を進めていくため、兵庫県地球温暖化対策推進計画を改定し、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロをゴールとして、2030年度温室効果ガス削減目標を強化する(2013年度比26.5% 35~38%)とともに、2030年度再生可能エネルギー導入目標を強化(70億kWh 80億kWh)した。



兵庫県地球温暖化対策推進計画



水素ステーション  
(© 岩谷産業(株))



燃料電池バス  
(© 神姫バス(株))

また、カーボンニュートラルへの貢献が期待される水素エネルギーの利活用拡大と、社会への普及促進を目指して、令和2年7月に、兵庫県水素社会推進協議会を設立。再生可能エネルギーを利用した水素製造や災害時の水素利活用等の研究、2030年頃の国際水素サプライチェーンの構築を見据えた国内初の水素受入基地立地誘致等の取組について検討を行った。また、水素ステーションの整備支援、次世代自動車(燃料電池自動車等)や燃料電池バスの導入支援など、新しい脱炭素社会の構築に向けた様々な取組を展開した。

ひょうごフードドライブ運動の展開

「フードドライブ」は、家庭で余っている食品をごみにせず、それを必要とする福祉団体などに、スーパー等を通じて寄附するもので、食品ロス削減を図る手段としても、県民一人一人が身近にできる取組である。

県では、運動の普及啓発、県内スーパーと福祉団体等とのマッチング、運動を推進するための情報交換、情報共有などを「ひょうごフードドライブ運動」として全県展開するため、令和2年10月に「ひょうごフードドライブ推進ネットワーク」(関係団体、スーパー、市町、県等で構成)を設置。ネットワークには現在、(生協)コープこうべ、(株)ダイエー、(株)イオン、(株)光洋、(株)マルナカなど、県内136の店舗が参画しており、フードドライブの輪が広がっている。



ひょうごフードドライブ推進ネットワーク

既存ダムの有効活用やハザードマップの充実など河川の事前防災対策の進展

効率的・効果的な治水対策を進めるため、新たに立ヶ畑ダム、丸山ダム、多々良木ダム、鮎屋川ダムなど、既存38ダムで、事前放流や期間放流の取組を開始。これまでの取組を合わせた全43ダムの治水活用容量は合計約6千万m<sup>3</sup>となり、治水ダム約28基を新たに建設する容量に匹敵するものとなった。

また、防災基盤の充実に加えて、「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」との考えに立ち、県管理の97水系680河川全てにおいて「想定最大規模の降雨」による洪水浸水想定区域図等の作成・公表を令和2年5月迄に完了。県管理河川で全ての公表を完了したのは近畿では本県が初。また、新たな洪水浸水想定区域図等の公表に伴い、CGハザードマップ掲載のフォトモンタージュや3次元動画を更新し、逃げ遅れゼロに向けた避難対策を強化した。



引原ダム(揖保川水系、宍粟市)



CGハザードマップ

# 多彩な交流社会

10 地域の交流・持続を支える基盤を整える

11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す

12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

## 10 地域の交流・持続を支える基盤を整える

〔交流・物流を支える社会基盤の充実 / 地域づくりの人材育成 など〕

西脇市、三田市、加古川市、稲美町において交通不便地域での生活交通の利便性向上を目的として、複数の交通手段の経路検索、予約がICTにより可能なMaaSのサービスを活用したデマンド型交通の実証実験を実施



あいのりいなみ(稲美町)車両

猪名川町及び宍粟市において、河川上空を飛行ルートとした多自然地域などの買い物困難地域等へのドローン輸送実証実験調査を実施

- 地域交通の利便性向上のため、コミュニティバスの運行情報をスマートフォンアプリで検索対応する標準データの整備及びオープンデータ化を推進 (Googleマップ経路検索対応済: 14市町 (R3.3末時点))



地域づくり活動応援事業

地域づくり活動応援事業において、自治会や婦人会などの地域団体が提案する地域活性化やコミュニティの充実など地域特性を生かした創意工夫の取組に対して219件支援

ふるさとづくり青年隊事業において、地域の活性化や課題解決に取り組む9団体に助成を行い、計112人の青年隊(地元青年57人、地域外(公募)青年55人)が活動を実施

## 11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す

〔都市農村交流の拡大 / 地域資源の発掘・発信 など〕

- 地域資源を活かした芸術祭や、地域の文化力向上・まちおこしのためのアートプロジェクト等の連携を促進し、ノウハウの共有や県内外への情報発信力を強化する「アートde元気ネットワーク in 兵庫・神戸推進事業」を実施(参画団体: 9団体)



アートde元気ネットワーク in 兵庫・神戸推進事業

- 地域を元気にし、ふるさとへの誇りや愛着につながる情報を発信するため「ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業」を実施(実績: 160人・団体 (H25~R2))

兵庫県にゆかりのある方とひょうごe-県民アプリを通じてネットワークを構築し、将来の訪問や交流、移住につなげる取組を実施(登録者数約52,000人)

WJターンを促進するため、東京・神戸のカムバックひょうごセンターにおいて、ハローワークやひょうご住まいサポートセンターと連携し、移住に必要な様々な相談を総合的に実施(相談件数計: 798件、移住者数: 95人)



ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業

- 移住者や二地域居住者を戦略的に迎え入れようとする地域に対し、地域の合意形成や計画策定及び移住コーディネーター雇用による受入態勢整備、受入集落による住環境整備等をモデル的に支援する「戦略的移住推進モデル事業」を新設(5地区、移住実績: 21世帯42人)

## 12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

〔グローバル人材の育成と国際交流の推進 / 多文化共生社会の推進 など〕

- 「ひょうご多文化共生総合相談センター」において、多言語による生活相談体制を整備。また、新型コロナウイルス対策として県と県国際交流協会が連携し知事メッセージや生活情報等を多言語化し県ホームページやSNS等で迅速に発信(相談件数: 3,630件)



ひょうご多文化共生総合相談センター

外国人雇用HYOGOサポートデスクで県内企業向けに外国人雇用に関する多様な相談への対応や外国人雇用セミナーを実施(相談件数: 454件・セミナー参加者数: 123人)

在留資格「特定技能」の創設や日本語教育の充実に関する法律の制定、新型コロナウイルス感染症の発生等を踏まえ、有識者による懇話会で県の基本的方向、方策等を検討し

「ひょうご多文化共生社会推進指針」を改定(令和3年3月)

外国人介護人材の受入と定着の促進を図るため、介護福祉士養成校の教員に対し、留学生への対応力・指導力向上研修を実施(参加者: 41人)



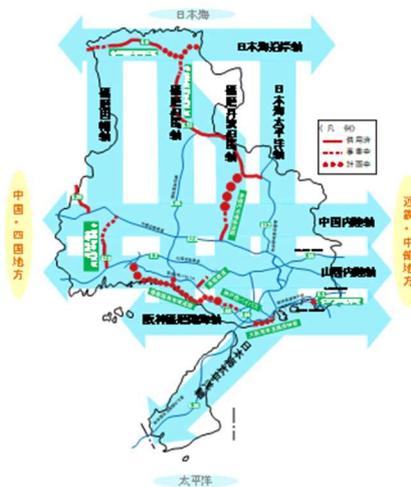
外国人雇用HYOGOサポートデスク

<トピックス>

北近畿豊岡自動車道全線事業着手など基幹道路ネットワークの整備が前進

北近畿豊岡自動車道の全線事業化（令和2年4月）、日高豊岡南道路開通（11月）、播磨臨海地域道路の都市計画・環境影響評価手続着手（1月）、名神湾岸連絡線の新規事業採択（3月）など、「基幹道路八連携軸」の整備が大きく前進。交流の拡大、地域産業の活性化や緊急輸送機能の確保などに大きく寄与する。

また、基幹道路整備に対する県民意識の醸成を図るために、県内3か所（神戸、播磨、但馬）において「ひょうご基幹道路ネットワークシンポジウム」を開催するなど、官民一体となって取り組みを進めた。



基幹道路八連携軸

銘醸地、伊丹と灘五郷が「日本遺産」に認定され、兵庫県の日本遺産が全国最多に

地域の歴史的魅力や特色によって育まれた物語を、わが国の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定する「日本遺産」として、伊丹市・尼崎市・西宮市・芦屋市・神戸市の「『伊丹諸白』と『灘の生一本』下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷」のストーリーが新たに認定され、全国最多の合計9件となった（令和2年6月）。

認定時期	構成市町	名称
平成27年	丹波篠山市	丹波篠山 デカンショ節 ～民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶～
平成28年	淡路市、洲本市、南あわじ市	『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」 ～古代国家を支えた海人の営み～
平成29年	姫路市、福崎町、市川市、神河町、朝来市、養父市	播但貫く、銀の馬車道 銚石の道 ～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～
平成29年	丹波篠山市	きつと恋する六古窯 ～日本生まれ日本育ちのやきもの産地～
平成30年 令和元年	神戸市、高砂市、新温泉町、赤穂市、洲本市、姫路市、たつの市	荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～
令和元年	赤穂市	「日本第一」の塩を生じたまち 播州赤穂
令和元年	香美町、新温泉町	日本海の風を生んだ絶景と秘境 ～幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」～
令和元年	宝塚市、加東市、加西市、姫路市	1300年つづく日本の終活の旅 ～西国三十三所観音巡礼～
令和2年	伊丹市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市	「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷

「ひょうごの日本遺産」一覧

播磨科学公園都市における次世代モビリティを用いた実証実験

人口減少・高齢化が進行するなか、日常生活等における移動性・回遊性を高める新しいモビリティ技術への期待が高まっている。

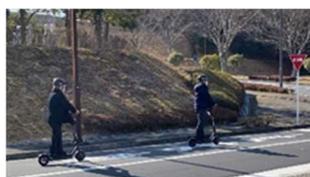
兵庫県企業庁では、播磨科学公園都市のラストマイル交通を担う移動手段の実用化に向け、次世代モビリティを用いた実証実験を近畿経済産業局等と共同で実施。住宅地を周遊する自動運転車や手軽な移動手段として注目される超小型EV・電動キックボードを用いた移動サービスの実証を行うとともに、これらの移動サービスを予約できる「西播磨Maas」の実証を合わせて実施した（令和3年1月）。



自動運転車



超小型EV



電動キックボード

外国人県民への生活支援

県内における在住外国人の状況は、ベトナム、ネパール、インドネシアをはじめ多国籍化が進むとともに、県下全域への分散化が進展しており、言葉や文化、生活習慣の違いなどによる不安の声も上がっている。

こうしたなか、人口比での在住外国人の増加が著しい加東市において、行政・生活文書の翻訳や外国語相談員の設置、通訳者の派遣、携帯翻訳機の配布・貸出などの取組を行う「在住外国人生活支援モデル事業」を実施。市・県・県国際交流協会等で検証会議を立ち上げ、外国人生活支援の全県展開に向け、効果や効率的な実施手法等についての検証を行った。



モデル事業：外国人地域住民向け交通安全教室の様子



ひょうご多文化共生総合相談センター

### 3. 地域ビジョンの令和2年度の推進状況

## 神戸

人々が集い、喜びと感動が共有できる  
「楽しいまち・神戸」をめざして

安心・安全な神戸の暮らしづくり  
次代を担う神戸の人づくり  
神戸の自然と融合した循環型の  
社会づくり

神戸らしいグローバルな魅力  
づくり  
神戸の強みを活かした地域経済  
の活力づくり

#### <地域の概況とシンボルプロジェクト>

「異国情緒あふれる文化的な蓄積」、「海と山の豊かな自然」など、豊かな地域資源に恵まれた神戸地域では、市民の参画と協働のもとに、神戸の魅力を活かした多彩な交流活動を展開し、「楽しいまち・神戸」の実現に向けた取組を進めている。

ビジョン委員会の活動を広く発信し、地域住民や地域団体等との幅広い交流・連携を進めるため、「神戸地域ビジョンフェスティバル」の令和3年度開催に向け、企画検討を行った。



#### 安心・安全な神戸の暮らしづくり

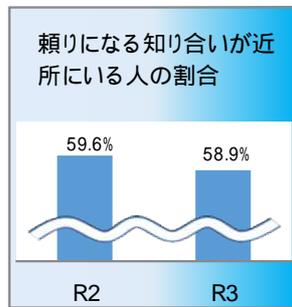
##### 《概要》

支援を必要とする人たちが安心・健やかに生きがいを持って暮らせるよう、健やかにいきいきと生活できる健康社会の実現のための取組を進めている。

- ・子ども食堂のニーズや運営方法等の意見交換、現場視察を実施した。



子ども食堂の見学



手作りみそのみそ玉作り



河川・道路のポイ捨てごみの調査



#### 神戸らしいグローバルな魅力づくり

##### 《概要》

外国人との交流を通じてお互いの文化を理解するなど、多様な言語や文化、生活習慣を受け入れることのできる多文化共生の社会づくりを進めている。

- ・神戸に暮らす外国人との多文化交流を進めるため、ネットワークづくりやイベント企画を行った。



企画会議の様子



#### 神戸の強みを活かした地域経済の活力づくり

##### 《概要》

神戸に培われてきたイメージ(ブランド)と築きあげてきた技術力、多彩な歴史・文化を活かし、地域経済の活性化をめざした取組を進めている。

- ・歴史・文化遺産など地域資産の再発見やその魅力を発信するため、兵庫津まち歩きを実施した。



兵庫津・まち歩き



#### 次代を担う神戸の人づくり

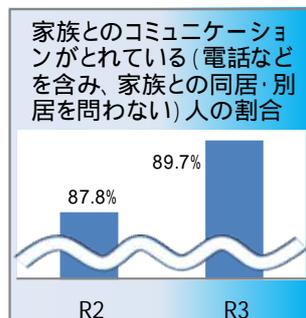
##### 《概要》

子育て家庭を支援するため多世代交流を進めたり、青少年が興味のある行事や催しを企画するなど、青少年が地域とのかかわりのきっかけとなる機会づくりを進めている。

- ・諏訪山公園「子供の園」の清掃活動等を行い、学生ボランティア等と地域資源の活用について意見交換を行った。



諏訪山公園「子供の園」でのイベント参加



#### 神戸の自然と融合した循環型の社会づくり

##### 《概要》

地産地消や楽農生活の推進等に取り組む「農都・神戸」づくりを進めるとともに、地球温暖化防止の啓発活動などの取組を進めている。

- ・地産地消の推進のため、神戸の農産物を使った手作りみそのみそ玉作りを実施したほか、再生可能エネルギーの勉強会の開催や河川・道路のポイ捨てごみの調査を行った。

# 阪神南

市民主体の幅広い社会経済活動が展開する阪神市民文化社会の創造

多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる  
 自律と協働による温かいコミュニティをつくる  
 自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する  
 豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する

## <地域の概況とシンボルプロジェクト> 「阪神なぎさ回廊プロジェクト」

阪神南地域は、「阪神間モダニズム」という言葉に象徴される特色ある文化・芸術の蓄積や活発な市民活動の拡がり、先端的で多様な技術に支えられたものづくり産業が集積している。

海(自然環境)と都市(人工的環境)が接する「なぎさ」を地域のシンボルとして捉え、尼崎21世紀の森づくりや尼崎運河再生プロジェクトを地域住民と協働で実施し、自然と都市の再生を図る環境先進都市づくりを進めた。



クロマツの育苗

### 多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる

#### 《概要》

それぞれのライフステージに応じた幅広い選択肢のもとで、芸術文化・スポーツ活動やボランティア活動等の地域づくり活動が幅広く展開する社会づくりを進めた。

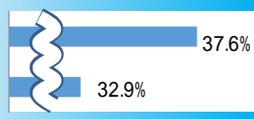
- ・県内より PTA 改革アイデアを募集。小中学校 21 校から全 29 事例が集まり、150 名以上の参加を得て、オンラインシェア会などを開催した。



PTAアワード兵庫2021

住んでいる地域のことをより良くしたり、盛上げたりする活動に参加している、または参加したい人の割合(R3)

阪神南地域  
兵庫県全県



### 自律と協働による温かいコミュニティをつくる

#### 《概要》

だれもが生き生きと活動できる環境づくりを進めるとともに、市民の自律と協働による、人と人、人と地域がふれあう温かいコミュニティづくりを進めた。

- ・「ヒトとマチを結ぶ」をテーマに、どの世代でも利用可能な情報発信や地域コミュニティをつなぐ活動に取り組むための勉強会を行った。

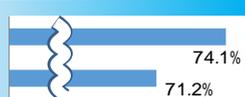


勉強会の様子

「ヒトとマチを結ぶ」概念図

住んでいる地域のことに関心がある人の割合(R3)

阪神南地域  
兵庫県全県



### 自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する

#### 《概要》

だれもが安心して生活でき、安全で暮らしやすいまちづくりを進めるとともに、尼崎21世紀の森づくりなど自然環境の創出による環境共生型のまちづくりを進めた。

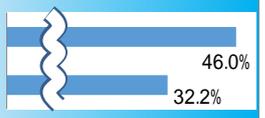
- ・貴重な「ひがた」の自然を知り、次の世代に残さなければならぬことは何かを学ぶ勉強会を開催。甲子園浜でひがたの生きものたちを観察した。



「ひがた」ってどんなところ?

山林や川、海などの自然環境を守るための取組に参加している、またはしたいと思う人の割合(R3)

阪神南地域  
兵庫県全県



### 豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する

#### 《概要》

充実した交流基盤と多彩な地域資源を活かしたツーリズムや文化・レクリエーション産業、コミュニティ・ビジネス等を促進するとともに、市民のワークスタイルの変化に応じた就業機会の創出など地域の活性化に取り組んだ。

- ・三市（芦屋・西宮・尼崎）の魅力、物語仕立てで発信し、経済の活性化につなげる活動に取り組んだ。コロナ禍で活動が制限されたため、地域の魅力を紹介する動画を制作し、SNS上で発信した。



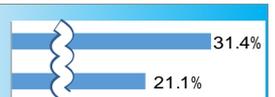
三市の魅力を物語仕立てで発信



芦屋の魅力を伝える動画の一コマ

お住まいの市・町の駅前や商店街に、活気が感じられると思う人の割合(R3)

阪神南地域  
兵庫県全県



# 阪神北

市民主体の「阪神市民文化」を  
継承し、活用し、創造する

多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる  
自律と協働による温かいコミュニティをつくる  
自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する  
豊かさとにぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する

## <地域の概況とシンボルプロジェクト>

### 北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）構想 / 地域見本市

阪神北地域では、進取の気風に富んだ市民が積極的に社会活動に関わる「市民文化社会」が築かれ、成熟した都市部が存在する一方、日本一の里山をはじめ豊かな自然が共生している。

シンボルプロジェクトでは、北摂里山の持続的な保全と地域の活性化をめざす「北摂里山博物館構想」を推進したほか、地域の魅力再発見と地域活動の担い手の発掘を目的に、ビジョン委員が日頃の活動の記録を「地域見本市」としてホームページに掲載した。



里山の風景

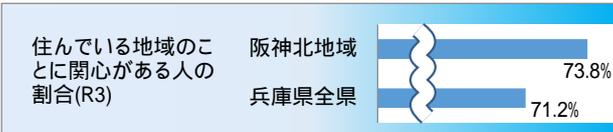
### 多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる 《概要》

様々な社会活動が展開する多様で個性的なライフスタイルを育むことのできる社会をめざした取組を進めた。

- 異なる世代間のコミュニケーションのキッカケづくりを目指し、生け花を通じた親子・孫世代との交流を図る「こども生け花教室」を企画し準備を進めた。



こども生け花教室



### 自律と協働による温かいコミュニティをつくる 《概要》

年齢等に関係なく活躍できる環境や、人と人、地域がふれあう温かいコミュニティをめざした取組を進めた。

- 自立と協働による温かいコミュニティづくりを進める観点から、今後起こりうる災害に地域全体で対処できるよう、避難所運営ゲーム（通称HUG）を実施した。
- 防災、減災に対する市民の意識・知識を高めるために、学識者による講演会を開催し、震災の写真パネルを展示した。



防災講演会の様子



### 自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する 《概要》

都市近郊に広がる緑豊かな環境を保全しつつ、魅力ある生活空間を持つ居住環境の維持に向けた取組を進めた。

- 地域の自然や環境を学び、その保全に努めるため、昆陽池の鴨の観察や昆虫館の見学、中山寺梅林巡礼街道の散策などを盛り込んだエコツアーを実施した。
- 無農薬による安全で健康的な野菜作りについて理解を深めるため、子ども食堂への無農薬野菜提供を計画する「阪北ファーム」が野菜の収穫・栽培体験を企画した。



エコツアーの様子



### 豊かさとにぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する 《概要》

地域資源の内外への発信や活力ある元気な街づくりの検討等、地域経済の活性化をめざした取組を進めた。

- 「食・動・楽・街」にスポットをあて、実際に三田市の郷土食であるしいたけ、宝塚市の西谷ダリア園、巡礼街道などの地域資源の現地調査やヒアリングを行い、県ホームページでの情報発信に向けた検討を行った。



体験の様子

# 東播磨

水辺・ものづくりのまちで生きる

安らぎとぬくもりを感じられる「心地いいまち」  
 自分らしさと生きがいを感じられる「楽しいまち」  
 自然と文化の豊かさを感じられる「美しいまち」  
 誇りと可能性を感じられる「力強いまち」

## <地域の概況とシンボルプロジェクト>

### 豊かな水辺を守り、生かす東播磨づくり/人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり

東播磨地域は、営みの源となる「水辺」、活力を生み出す「ものづくり」の特性が掲げられる。

一人ひとりが主役となって、生き生きと暮らし、育ち、学び、働き、輝けることを願い、豊かな水辺地域とそのつながりを大切に守り、受け継ぎ、生かした魅力ある地域づくりと、ものづくりをはじめとする様々な分野で、人・もの・情報の交流により、新たな知恵と活力を生み出し、にぎわいのある持続可能な地域づくりをめざしている。



### 安らぎとぬくもりを感じられる「心地いいまち」

#### 《概要》

お互いに「顔が見える」地域で、安全安心を実感でき、自立して、明るく、健康に、ゆとりをもって暮らせる取組を展開している。

- ・「地域コミュニティ」「地域防災」「世代や立場を超えた地域の共生」など、様々な観点から地域と協力して取り組むために、学習会を開催し、分野を超えた人材の交流を図りながら、地域の活性化への取組を検討した。



東播磨地域ビジョン委員会学習会

住んでいる地域は、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合 (R3)



### 自分らしさと生きがいを感じられる「楽しいまち」

#### 《概要》

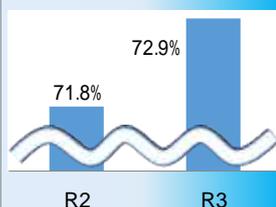
若い力を育て、多様な考え方・生き方を尊重し、多彩な知恵とアイデアが交わる中で楽しさを創造できる取組を展開している。

- ・地域の歴史や文化について、実際に歩いて学ぶ「ふるさと探訪」や、地域の子どもが様々な職業を知ること将来について考え、可能性を広げる機会となる、疑似職業体験「職業人と語ろう」を開催した。



ふるさと探訪てくてくハイク

住んでいる地域のことに関心のある人の割合



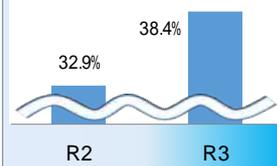
### 自然と文化の豊かさを感じられる「美しいまち」

#### 《概要》

流域文化のすばらしさを体感でき、人と自然が共生する循環型地域のモデルをめざした取組を展開している。

- ・地域との連携のもと、身近な地域資源「ため池」の知識を広め、大切に感じてもらうために、県民がため池について学べる場づくりに向けた検討を行った。ため池をきっかけに、地域の在り方について、地域が主体となって考え、行動することを目指している。

お住まいの市・町では自然の生き物(動物・植物)とふれあう機会があると思う人の割合



東播磨地域ビジョン委員会全体会

### 誇りと可能性を感じられる「力強いまち」

#### 《概要》

人・もの・情報が交流する中で、魅力とにぎわいを生み出せる取組を展開している。

- ・サイクリングコース調査のため、管内外問わず、多くの地域のサイクリングコースを試走、検証した。また、他施設の内容や運営形態などを知り、自施設の参考に資すると共に、互いの



文化施設コラボイベント「太陽を全集中！」

良いところを新たな形で引き出すための、文化施設コラボレーション企画「太陽を全集中！」を開催した。

住んでいる地域に愛着や誇りを感じる人の割合 (R3)



# 北播磨

ひょうごのハートランド

交流が広がる  
生活(くらし)の絆が深まる  
文化が花開く

恵み豊かな環境が持続する  
元気な産業が興る

## <地域の概況とシンボルプロジェクト>

兵庫のほぼ中央に位置する北播磨は、豊かな自然、歴史・文化、伝統産業、多彩な農産物に恵まれ、高速道路の結節点という交通の要衝を形成している。

こうした地域特性を生かし、人・モノ・情報が力強く交流し、人々の志が集う場所「ひょうごのハートランド」をめざし、「元気な北播磨づくり」を進めている。



北播磨地域ビジョン委員会  
イメージキャラクター「北歩くん」

## 交流が広がる

### 《概要》

「『まちむら交流』で活力を育む地域」をめざす

- 新型コロナウイルスの感染拡大により地域内外の交流が制約される中、感染防止の対策を取りながら、イメージキャラクター「北歩くん」を健康づくりのイベントに派遣し、北播磨地域ビジョンの理念の発信に努めた。



「北歩くん」のおもてなし



## 生活(くらし)の絆が深まる

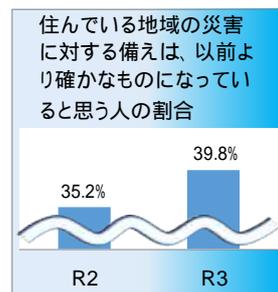
### 《概要》

「家族・地域・生活(くらし)の絆を深めるとともに、絆の力で安全・安心を支える地域」をめざす

- 防災意識の向上を目的として、災害時に役立つ新聞スリッパづくりを、「みらいえ DE 防災体験」(西脇市)での防災ワークショップにより実践した。



「みらいえ DE 防災体験」  
防災ワークショップ  
(新聞スリッパ作り)



## 文化が花開く

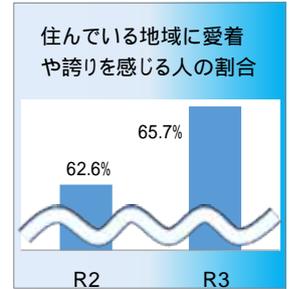
### 《概要》

「芸術・文化を暮らしに活かす地域」をめざす

- 魅力あふれる北播磨の「よさ」を知ってもらうために、自然や生活、伝統文化等の音を収録した「北播磨音風景 50 選」の普及と更なる PR を実施した。また、子どもたちに郷土の歴史、伝統文化を伝えるため、北播磨各市町の歴史資料館等で開催する「郷土歴史セミナー」を検討し、併せて各市町から 5 つずつ、計 30 の伝統的な祭りのパンフレット作成に取り組んだ。



音風景 1  
大宮八幡宮 秋祭り屋台練り(三木市)



## 恵み豊かな環境が持続する

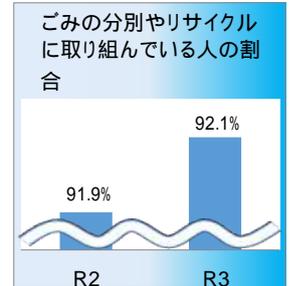
### 《概要》

「北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域」をめざす

- 暮らしの中で実践できるプラスチックごみを減らす取り組みとして、新聞紙で作るエコバッグの作り方体験を「みらいえ DE 防災体験」(西脇市)で実践した。



「みらいえ DE 防災体験」  
防災ワークショップ  
(新聞エコバッグ作り)



## 元気な産業が興る

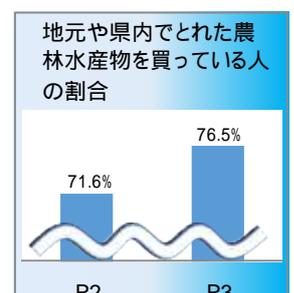
### 《概要》

「多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域」をめざす

- 有機農業の普及促進と食の安全安心への意識向上を図るため「人と環境にやさしい北播磨オーガニック農業講座」を開催した。コロナ禍での開催のため、会場での参加のほか、オンラインでの参加もあり、多数の参加者のもと開催した。



「人と環境にやさしい」  
北播磨オーガニック農業講座



# 中播磨

人の輪と地域の輪がつながる元気な  
中播磨をつくろう

希望が育つ中播磨 ~子どもが元気に育つ、つながりのある地域~  
安全安心中播磨 ~みんなが安心して暮らせる地域~  
自然豊かな中播磨 ~自然環境の営みを大切にする地域~  
元気交流中播磨 ~にぎわいと交流の元気な地域~

## <地域の概況とシンボルプロジェクト>

### 銀の馬車道を活用した連携と交流の地域づくり ~つなぐ つながる 銀の馬車道~

多彩な自然や歴史・文化など、豊かな地域資源に恵まれた中播磨地域では、明治初頭の最先端技術により日本初の高速産業道路として整備された「銀の馬車道」を連携と交流のシンボルとして掲げ、地域住民の参画や、住民と住民、住民と行政との協働により、人の輪と地域の魅力をネットワーク化することで、地域ビジョンの実現をめざす。



### 希望が育つ中播磨

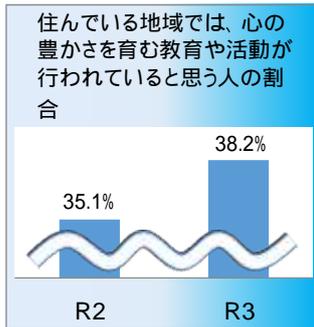
#### 《概要》

~子どもが元気に育つ、つながりのある地域をつくろう~

・子どもにとって魅力ある街づくりの仕掛けを考えることが人材の定着につながり、街の賑わい創出につながるの考えのもと、コロナ禍で子どもが日頃から取り組んでいる活動（音楽・ダンス等）を発表する機会が失われているため、発表する場を設ける「子どものゆめワクワク発表会」を姫路市立動物園と共催で企画した。



子どものゆめイベントチラシ



### 自然豊かな中播磨

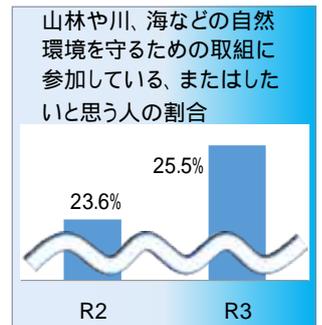
#### 《概要》

~自然環境の営みを大切にする地域をつくろう~

・自然環境の営みを大切にする地域をつくり、人と自然が共生するまちづくりに向けた取組を検討するため、中播磨地域の里山を訪問し、現地見学を含めた勉強会を実施することで、委員自身の知識を深め、今後の活動において、学んだことを還元していく。



里山の現地見学



### 元気交流中播磨

#### 《概要》

~にぎわいと交流の元気な地域をつくろう~

・中播磨の食文化を発信するため、フードイベントに参加し、舞台発表を行ったほか、中播磨の地場産業である日本酒と和菓子をテーマに動画を作成し、YouTube に掲載することで特産品(食材)の魅力発信と交流促進に取り組んだ。



イベントでの舞台発表



YouTube の動画を撮影

### 安全安心中播磨

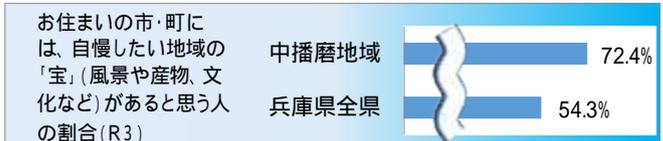
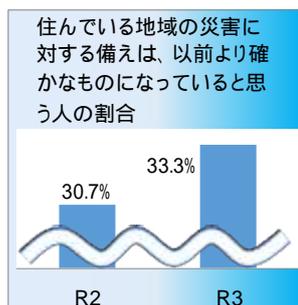
#### 《概要》

~みんなが安心して暮らせる地域をつくろう~

・「防災の知識を深め、学んだことを地域貢献していく」をベースに、委員自ら HUG(避難所運営ゲーム)などを体験することで知識を習得するとともに、多くの方に防災に関心を持ってもらうため、「東北復興支援プロジェクト ハートフルフェスティバル」に出展し、AED や防災スリッパ・マスク作りの体験コーナーを設置することで、防災に関する普及啓発を行った。



防災スリッパ・マスク作り



# 西播磨

～光と水と緑でつなぐ・元気・西播磨～

人の輪社会 ～ふれあいを大切に、豊かな人間関係をつくろう～  
 安全安心社会 ～住みなれた地域で支え合ってともに生きよう～  
 環境王国 ～人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう～  
 きらきら西播磨 ～にぎわいと交流の元気な地域をつくろう～

## <地域の概況とシンボルプロジェクト>

### 光と水と緑でつなぐ・元気・西播磨&つながるひろがる「出る杭」西播磨元気プロジェクト

光と水と緑があふれる自然豊かな西播磨では、農業・産業、先端科学技術、観光、生活など地域の特徴をふまえ、行政と住民の参画と協働による地域づくりに取り組んでいる。

西播磨の地域づくり活動のシンボルである「出る杭大会」(R2:Web 開催、出場団体16団体)の開催を中心に、参画と協働による地域づくり活動が着実に根付きつつある。



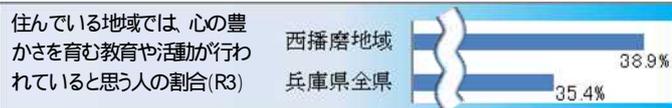
西播磨地域ビジョンロゴマーク

### 人の輪社会 分科会

#### 《概要》

ふれあいを大切に、豊かな人間関係をつくろう

- ・夢や希望を与え、健やかな子どもを育成する活動として、スポーツ選手と管内の中高生との懇談会を開催した。
- ・こども園で幼児への絵本の読み聞かせや昔遊びなどの子どもの健全育成活動を行った。



スポーツ選手と中高生との懇談会



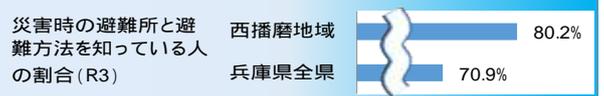
絵本の読み聞かせ

### 安全安心社会 分科会

#### 《概要》

住みなれた地域で支え合ってともに生きよう

- ・自主防災組織の現状を把握し、組織の活性化策を探るため、管内の自主防災組織を訪問し、取り組み状況の聴取を行った。また、「地区防災計画」のマニュアル作成に向けて、先進的な取組を行う防災リーダー等への取材を実施した。



自主防災組織の視察

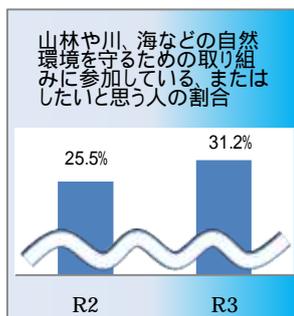


### 環境王国 分科会

#### 《概要》

人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう

- ・人と自然が調和した地域を次世代に残していく活動の一環として、揖保川の災害対策や自然環境の現状について調査した。
- ・プラスチックごみを減らす方策を探るため、専門家を招いてプラスチックの現状と課題に関する勉強会を行った。



揖保川の整備状況の調査



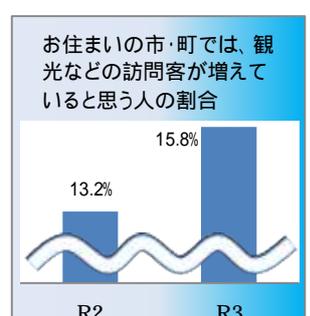
プラスチックの勉強会

### きらきら西播磨 分科会

#### 《概要》

にぎわいと交流の元気な地域をつくろう

- ・地域で活躍する人や団体を取り上げ、効果的に情報発信していくため、取材先の選定や意見交換を進めた。
- ・鉄道沿線の見どころや特産品等を紹介する観光マップ作成のため、地域資源の調査や掲載スポットの撮影等を行った。



地域の魅力について意見交換



マップ掲載スポットの動画撮影

# 但馬

あしたのふるさと但馬  
～コウノトリ翔る郷～

自立の郷 地域の力を結集した「活力みなぎる たじま」  
賑わいの郷 交流人と共に創る「ゆしみあふれる たじま」  
癒しの郷 自然や文化、風土を活かした「潤いと安らぎに満ちた たじま」  
慈しみの郷 共に励まし、助け合って「生きる喜びを分かち合う たじま」

## <地域の概況とシンボルプロジェクト>

但馬地域では少子高齢化や人口減等の課題に直面する一方で、豊かな自然環境に恵まれ、歴史的な文化遺産、近代化産業遺産などがあるとともに、コウノトリ野生復帰や山陰海岸ジオパーク活動などの取組も進んでいる。

こうした地域資源に着目し、「但馬はひとつ」を合い言葉に地域おこし運動として展開した「夢但馬2014」を継承し、理念を持続的に推進していくことをシンボルプロジェクトとし、夢但馬2014の推進を通じて醸成された「但馬の宝は人」という共通認識のもと、「次世代につなげる地域づくり」「おもてなしによる交流の拡大」を持続的に展開し、「あしたのふるさと但馬」をめざした地域づくりを展開している。



夢但馬ロゴマーク

### 自立の郷

地域の力を結集した「活力みなぎる たじま」

#### 《概要》

将来も住み続けたい、住み続けられる地域をめざして、地域リーダーの育成や交流の場づくりなど、住民主役の地域活動の取り組みを進めている。

- 各世代・各層の県民とオンラインでの交流イベントを実施し、コロナ禍における新しいコミュニケーションの場を創設。楽しんでトークを行いながら、進行技術の向上を図り、地域活性化等の取組につなげていく。



オンライン交流イベント  
「オンラインカフェ」



### 賑わいの郷

交流人と共に創る「ゆしみあふれる たじま」

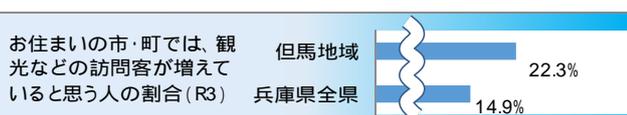
#### 《概要》

多彩な地域資源を活かした新たなツーリズムの創出や、交流イベントの開催など交流人口の拡大に向け活動している。

- 「但馬を深掘り&再発見」をテーマに観光地や地域資源を取材し、但馬内外の人に向けて SNS や但馬情報特急で発信した。
- 但馬の特色ある日本酒を「もっと知りたい、知ってほしい」との想いから、但馬内外の人に魅力を広く伝えるため、日本酒マップの作成を目指し、但馬内の酒蔵へ取材を実施した。



明延山の取材



### 癒しの郷

自然や文化、風土を活かした「潤いと安らぎに満ちた たじま」

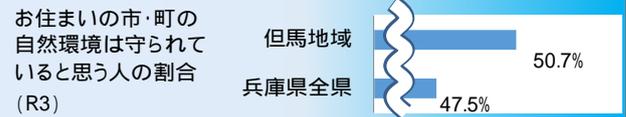
#### 《概要》

但馬にある自然や文化、風土などの地域資源を活かし、地域の良さの再発見や地元資源の活用など、ふるさと意識の向上に向け活動している。

- 休耕田を復活させることで地域の自然環境を守りながら野菜や花を栽培した。苗植えや茶話会、収穫祭などのイベントを通して、子どもからシニア世代まで、地域の多様な世代が交流する場を創出した。



地域住民との交流イベント  
「収穫祭」



### 慈しみの郷

共に励まし、助け合って「生きる喜びを分かち合う たじま」

#### 《概要》

少子高齢化が進むなか、地域と子ども達、子育て世代を繋ぐことにより、地域で支え合うコミュニティの育成にむけ活動している。

- 「地域社会との繋がりを持つ価値」に気づいてもらえるよう、高校生を対象にしたイベントや、高校生が地域で行う活動のサポートを実施した。
- 子育てが楽しく豊かなものであってほしいという願いから、子育て世代の居場所創出を目指し、お母さんたちが気軽に子連れで集い、学びあえる交流イベントを開催した。



高校生向けイベント「教えて先輩！」



# 丹波

みんなで丹波の森

みんなで創る“自立のたんば”  
 都会に近い田舎を楽しむ“交流のたんば”  
 やりがいを実感できる“元気なたんば”  
 多世代が支え合う“絆のたんば”  
 とともに暮らす“安全安心なたんば”

## <地域の概況とシンボルプロジェクト>

### 自然と織りなす豊かなライフスタイルの創造 ~丹波の森づくり~

丹波地域では、地域住民による「丹波の森宣言」以来、住民、事業者、行政が一体となり、人と自然と文化が調和した「丹波の森」づくりが進められている。丹波地域ビジョン「みんなで丹波の森」に描く将来像の実現を目指すとともに、丹波の森づくり 30 周年で提示された今後の方向性「未来へつなぐ もりびとライフスタイル（自然と織りなす豊かなライフスタイル）」の創造に向けて住民主体の取組を展開している。



### みんなで創る“自立のたんば”

#### 《概要》

住民自らが地域の魅力に気づき、地域への愛着を深め、積極的に地域づくりに取り組む社会をめざし活動を展開している。

- ・地域の“MOTTAINAI”食材に注目し、収穫しきれず放置された柿を使ってジャムやチップス、羊羹に加工し、商品化を目指すための試作などを行った。



柿ジャムの試作



### 都会に近い田舎を楽しむ“交流のたんば”

#### 《概要》

丹波地域での田舎暮らしのPRにより、丹波地域の魅力に引き寄せられた地域内外の人々が活発に交流する地域をめざし活動を展開している。

- ・丹波地域への移住希望者に、丹波地域の魅力や移住に関する情報を手に取りやすい形で発信するための素地づくりとして、移住相談窓口等への現地調査を行った。



### やりがいを実感できる“元気なたんば”

#### 《概要》

地域に残る資源の有効活用などを通じ、地域産業の維持発展をめざし活動を展開している。

- ・草刈りのできる大量の刈り草の有効活用について、活用方法を検討し、地域に残る灰屋(はんや)の魅力を発信するイベントを開催した。



### 多世代が支え合う“絆のたんば”

#### 《概要》

子どもたちが健やかに育ち、高齢者も活躍するなど、各世代がともに地域の暮らしを支える社会をめざし活動を展開している。

- ・地域で子育てに関わる全ての人を応援するため、オンラインでの講演会を開催した。
- ・社会的に孤立しがちな人に向け、ゲームを通じて社会とつながるためのゲーム会を開催した。



子育て講演会



ゲーム会



### とともに暮らす“安全安心なたんば”

#### 《概要》

国籍や性別、年齢や障がいの有無等に関わりなく、誰もがいきいきと安全・安心に暮らせる社会をめざし活動を展開している。

- ・子どもの頃から多くの添加物を摂取する機会が増えている。病気の予防のためにも、自分でも簡単にできる添加物の少ないおやつづくりの試作を行った。



丹波地域で焼土肥料を作っていた灰屋(はんや)をめぐるウォークイベント



添加物の少ない昔ながらの簡単なおやつづくり

# 淡路

環境立島あわじ ~人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”へ~

誰もが役割を持ち、地域の宝が生きる島づくり  
個性と活力にあふれ、新たな価値を生み出す島づくり

自然とのつき合い方を再考し、その恵みに支えられた島づくり  
経済、社会、環境が調和し、命をつなぐ島づくり

## <地域の概況とシンボルプロジェクト> あわじ環境未来島構想

淡路島の豊富な日照量、高い食料自給率など豊かな地域資源を活かして、「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」を3つの柱に「生命つながる“持続する環境の島”」をめざす「あわじ環境未来島構想」に、官民協働で取り組んでいる。

平成23年に国の地域活性化総合特区（あわじ環境未来島特区）の指定について、平成29年に計画期間の延長指定を受け、国の支援制度も活用しながら、太陽光などの再生可能エネルギーの推進、農の後継者育成などエネルギーと農を基盤に、暮らしが持続する島をめざす。



### 誰もが役割を持ち、地域の宝が生きる島づくり

#### 《概要》

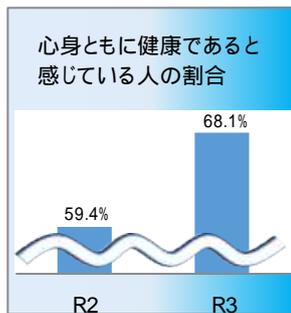
地域における「参画と協働」を進め、淡路島の未来を担う人材を育てる。

それぞれが持つ「知恵」「技術」などを活かし、すべての人々に役割や居場所があり、「自助」「共助」「公助」のバランスのとれた島をめざす。

- ・福祉に対する普及啓発活動と居場所づくりの支援活動として、障害者スポーツ「卓球バレー体験」や、植物とのふれあいを通して心身の健康維持を図る園芸療法「泥団子・苔玉作り体験」を実施した。



卓球バレー大会



### 個性と活力にあふれ、新たな価値を生み出す島づくり

#### 《概要》

淡路島の地域資源を活かし、地域内外との連携をとりながら、新たな価値観と豊かな発想で付加価値の高い産業を生み出す。

若者の就労機会を増やし、起業に係る主体的行動を支援する。また、地域経済を活性化し、自立をめざす。

- ・移住者や移住相談従事者との勉強会を開催し、移住をする上で抱える問題、受け入れ側の協力のあり方や、淡路島に住んでみたいと思ってもらえる居場所づくりなどについての検討を行った。
- ・淡路島の魅力を再発見するきっかけづくりとするため、淡路島に本社機能の一部を移転した企業の役員を講師に招き、新しい田舎での暮らしや働き方、ビジネス、観光など、淡路島が持つ様々な可能性を考える講演会を開催した。



移住者との交流会



### 自然とのつき合い方を再考し、その恵みに支えられた島づくり

#### 《概要》

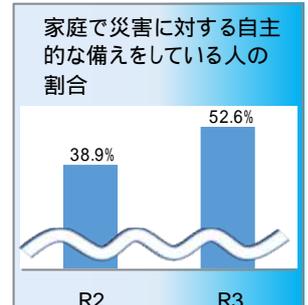
災害の教訓を深く記憶にとどめ、今後の生き方、暮らし方に生かしていく。

また、淡路島の持つ豊かな自然を社会的、経済的、スピリチュアルな視点から評価したうえで、人と自然の新たな共生空間の形成をめざす。

- ・防災意識の普及啓発を図るため、ゲーム感覚で避難所運営を体験し、浮き彫りになった問題点を議論する「避難所運営ゲーム（HUG）」を実施した。
- ・淡路島で課題となっている放置竹林について、地域のお祭りにパネル展示を出展。生物多様性や景観の喪失といった課題をPRし、竹の有効活用など地域住民一人ひとりができる取組を共有した。



「避難所運営ゲーム（HUG）体験」



### 経済、社会、環境が調和し、命をつなぐ島づくり

#### 《概要》

経済、社会、環境の調和がとれた真の幸せ（豊かさ）が実感できる淡路島らしい暮らしを実現するための「仕組み」をつくる。

ビジョンの実践過程とその成果を島内外に広く発信し、外部からの意見を取り入れ、次のステップに生かしていく。

- ・地域団体の活動と交流の活性化を図るため、「淡路くにうみ夢フォーラム」において、ビジョン委員と地域住民が集い、淡路島の課題や魅力について意見交換を実施。未来新聞の作成を通して、県民が望む淡路島の30年後の姿を展望した。



「淡路くにうみ夢フォーラム」

